

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善すべき点、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			新型コロナウイルス感染症流行に伴い、成人ご利用者とのゾーニングのため別室でサービス提供しましたが、不便の声はありませんでした。屋外での活動機会も多く設け、快適にお過ごしいただいています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上に配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差はありません。扉も大きく車椅子の方も利用しやすくなっています。身障用トイレも完備しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月1回の会議に全職員が出席し、目標の確認や振り返りの機会を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にアンケートを実施し、業務の改善につなげています。アンケートの機会以外にも保護者からの意見や要望に誠実に対応し、改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は実施していませんが、保護者へのアンケートや法人本部による査察の形で評価を受け、指摘のあった部分があれば早急に改善を行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画に則り実施しているほか、必要に応じた研修を適時実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			適切にアセスメントを行い、ご利用児、保護者のニーズや課題を分析し、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			放課後等デイサービス計画と連動したアセスメントツールを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門職を交え、意見を出し合いながら、活動プログラムを作成しています。季節を感じる活動が出来る活動を考慮しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			身体を使った活動、学習要素のある活動、生活能力向上のための活動、季節感のある活動等、工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			生活療育、おやつ作り、製作、運動、音楽などの活動を主体にし、季節感を味わえる活動も行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達段階やニーズに応じた個別活動と、集団適応を意図した集団活動を組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			活動の内容と目的を共有しポイントを明確にすることで、有効的な支援が実施できるよう図っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎終了後または翌朝までに、振り返りの場を設け、改善点等あれば次の支援にいかせるよう努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			放課後等デイサービス計画に基づいて記録しています。必要なときに読み返せるよう整理をしています。気づいたことは共有し、統一支援に役立っている。

関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最長でも6ヶ月に1回モニタリングを実施し判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			基本活動にある自立支援と日常生活充実のための活動を中心に、ご利用児や保護者の意見も取り入れながら支援しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者または保育士や指導員が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校へのお迎えの際や、電話で随時行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医師や保護者と連絡が取れる体制を整え、医療的ケアが必要な児童を受け入れています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じ対応する体制を整えています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			担当者会議で情報共有しています。随時の問い合わせがあった場合には、保護者の了承を得て提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、発達障害者支援専門員等専門家の意見を求めています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今のところ実現できていません。今後については検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		市主催の情報交換会や検討会に参加しています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用中の様子や課題を伝え、情報共有と共通理解を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニング等は実施していませんが、相談に随時応じながら心の余裕をもって対応できるよう方法について助言しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に行っています。また、保護者から質問があった場合には、適宜説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			悩み等の解消、見通しをもつことによる不安の軽減を意識しながら都度相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		年に1回保護者懇談会を計画しています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決委員を選任しています。苦情等については、真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応しています。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、お知らせを発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			マニュアルに沿って、適切に取り扱っています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚支援等を用いる等、一人ひとりに合わせて配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域との懇談会や地区保育園、小学校との交流会を計画していましたが、コロナ禍のため開催しませんでした。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、職員には周知しています。保護者には必要に応じてお知らせしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			防災訓練を定期的実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全職員が虐待防止の研修会に参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			放課後等デイサービス計画に記載するほか、身体拘束に関する説明と同意書を用い、保護者に説明し同意を得ています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に保護者と情報共有をおこない、安全に対応ができるよう配慮しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			リスクマネジメント委員会で検証し、毎月の会議で報告しています。また、いつでも事例集を見ることができるようになっています。